

上越市 新コーディネーター  
行革推進

## 松川太賀雄副会長



昨年度、行革市民会議のメンバーとして第三次行革大綱策定に尽力した。市民会議の本来の役割は二次大綱に対する上越市の取り組みの評価だったが、「明確な目標のないものをどう評価するのか。その判断基準を明らかにする必要がある」と庁内会議と連同し、大綱の見直しを図った。本年度からは、理事者側の席に着く。

「最小の経費で最大の効果」という行革本来のねらいを推進するため、民間の経験をいかした広い視野から市に提言をする。「官は自浄作業に鈍感。できない理由をうまく言うが、できる工夫をしない。最後には、行政になじまない」と。なじんでいることをやっていけば何も変わらない」と行政体質に手厳しい。

大手食品メーカーのエスビー食品で財務部、管理部など各部長を歴任。その後、

エスビーガーリック食品の社長に就任。職を退いてから故郷上越に戻った。「会社というしくみの中で、トレーニングの場があり、そこで当社流の手法を考えてきた」と話し、今度は民間での経営実践のノウハウを上越市役所に置き換える。

自らの果たすべき役割を「可能な限り逃げ場のない目標を立てさせる」、P D C Aサイクルの定着「進ちよく管理システムの導入」とあげ、「その道筋をつけることがこの一年の仕事」と言う。バブル崩壊後、効果的効率的な経営体質に改善した手腕を、厳しい財政状況にある地方自治体の経営にも発揮していく心構えだ。  
〔上越タイムスより〕